広報 かじき

第213号
48.7.10発行
発行 鹿児島県姶良郡加治木町役場
編集 総務課文書係
印刷 吉屋印刷所

強い日ざしに1年生も「ぬきヤーイ」＝仮屋町で

いよいよ夏本番です

夏痩せを無骨なる子が
いたわれて　　牧　笛郎

□…7月も上旬をすぎると日ざしも強くなり本格的な夏を迎えます子どもたちの夏休みも、もうすぐ夏休みはまず、からだを丈夫にすることが一番の目的でもあります

□…高温多湿のこのごろは栄養がかたよりがち。暑くてからだの抵抗力がおちるときこそ、お母さんの工夫で栄養をとりまぜた食事を

□…とかく夏はおとなも子どももだらけがち。水難や交通、非行などの事故がないよう見守り、楽しい夏休みを過ごさせたいものです

昭和48年 **7** 月号

■メ　モ　　人口／19,522　　男／9,212　　女／10,310　　世帯／6,221　（48年6月1日現在）

425人を表彰

太鼓踊りの保存育成に貢献した故三反市次さんほか

≫昭和47年度≪町総合表彰式

「ご苦労さま」12人の納税組合長さんに感謝状

昭和四十七年度の町総合表彰式は六月一日午後二時から、町福祉センターホールで行なわれました。

今回の表彰式では、行政連絡員として永年、町の行政にたずさわり、いまなおご苦労いただいているかたや納税関係で、おほね折りいただいた納税組合長さん、太陽国体の開会式場で勇壮な踊りを披ろうし、鹿児島の意気を全国に示した町の太鼓踊り保存会長（故・三反市次＝代理）や四つの大字の保存会、町内商店の優良従業員など、個人や団体、グループ（代表）を含め四百二十五人が、それぞれの部門で表彰されました。

審査報告や加治木税務署長らのあと、四百二十五人の受賞者を代表して町内西別府・嶽の田中早苗さん56は「わたしたちは各部門にわたり、それぞれの指導をうけ、その指導を確実に実行してまいりましたところ、このたび選に入り本日りっぱな賞をいただきました。これからは、この機会を契機としてなおいっそうの努力をして来年の表彰式には再び臨みたいと思います」と、このようにお礼のことばを述べました。

当日の表彰内訳は次のとおり。

▽総務関係六　▽教育委員会関係八　▽税務関係一三五　▽福祉関係一四二　▽経済関係一二七

おもな受賞者を次に紹介します。

□町行政連絡員として永年町の行政に寄与された

高田精二（端山・五年連続）
岩元武治（港町・　同　）
稲恒　肇（中汐入・同　）

□町職員として永年、町行政に寄与された

＝勤続二十四年＝

川原芳隆（茶腕屋）
故本中野勉（西反土）

□明るく正しい選挙推進に努力

辺川地区公民館（代表・大宮路仕）＝永年の各公職選挙において、つねに区民一致、協力して明るく正しい選挙推進に努力している。とくに投票率では、つねに最高位を持続している。

□本町の教育振興に貢献

白尾国男（西ノ原）＝町教育委員や町教育委員長などの要職を十三年間つとめ、昭和四十七年九月辞任。

桑幡元長（柳田）＝町教育長として二期（八年）つとめ、四十七年十二月退職。

□太鼓踊りの保存・振興に貢献

（③ページ上へ）

無秩序な土地開発を防止

県が土地利用対策要綱を制定

県では、県内における投機的な土地の買い占めや自然環境を破壊し、土砂くずれなどの災害を発生させるような無秩序な開発を防止するため「鹿児島県土地利用対策要綱」を六月一日付けで制定、実施しました。

①県内で一ヘクタール以上の土地を取得したり、開発しようとするときは、事前に知事に協議して知事の承認を得ることになります

知事に協議するときは、土地利用協議書に事業計画書などを添えて町役場に申し出てください。

②土地の開発について知事の承認をうけた場合、土地利用者は自然環境の保全や文化財の保護、防災施設の整備、道路や公園の整備水源の確保、廃棄物の完全処理などその都度、市町村長との間に開発協定を結ばなければなりません

③万一、知事の承認を受けないで一ヘクタール以上の土地を取得開発または開発協定を守らない場合は、土地利用に関する法律や条例による許可または認可をしないこともあります。

この要綱について詳しいことは町役場・企画課または県庁企画部土地対策室（鹿児島局26八一一一番、内線七三八番か七三九番）へ

（②ページ下から）

故・三反市次（楠園）＝十三歳から太鼓踊りをはじめ、木田地区の太鼓踊り保存会長を二十年、町保存会長を一年つとめるなど、多年にわたり無形文化財・太鼓踊りの保存、振興に活躍された（昭和四十七年十一月死亡）

反土地区・太鼓踊り保存会
木田地区　（同）
西別府地区（同）
小山田地区（同）

□町内子ども会の模範として多大の成果をおさめている

岩原西子ども会（代表堀田哲也）＝昭和二十二年四月、部落ＰＴＡの親子会として結成以来、自主協力、計画的に堅実な子ども会活動を続け、数多くの公開発表を行ない、町内子ども会の模範として多大の成果をおさめている。四十八年五月に県内の優良子ども会として県教育委員会表彰をうける。

□納税組合長として町税の納入に貢献。

上別府豊（内原田）
枦山義治（田中）
本田菊枝（柳田東）
森木政雄（小陣）
宮永栄治（下新道）
新原勇之助（新町）
久保一雄（天神）
漆間宗夫（今町）
大迫ノブ（江湖）
楢木キクヱ（垂ノ口）
中野慶蔵（西汐入下）
池田輝夫（弥勒）

□町たばこ消費税の確保に貢献

加治木地区たばこ小売人組合（代表・岡田兼雄）＝たばこ販売の目標達成で三年連続専売公社国分管内第一位をおさめ、町たばこ消費税の確保に貢献。

□町内商店の優良従業員（数字は勤務年数）

税所聖勝（明治乳業・九年）
有川常春（南日本電工・八年）
上野章一（明治乳業・八年）
枝元良子（ヘンミ製作所・六年）
榎谷律子（大英建設・五年）
木村明子（明治乳業・四年）
坂元信子（ヘンミ製作所・三年）

受賞者のみなさん、おめでとうございます。

小学生以下に多い水難事故死

夏の訪れとともに水のシーズンとなって、子どもたちの水遊びや海水浴、魚つりなどが多く見られるようになりました。

■昨年の水死事故■
■県内で八十九人■

しかし例年、この時期には、たくさんの水死事故が発生しています。昨年は県内で八十九人（男七十七、女十二）の水死者がありました。これを年代別にみると

幼児十三、小学生二十、中学生九、高校生三、その他四十四人となっており、小学生以下の子どもの事故が多いことが注目されます

■通行や遊び中の■
■転落死亡が多い■

これらの原因別をみると、

①通行中あるいは遊んでいるうちに誤って転落したもの四三パーセント。
②魚つり、水遊び中に高波にさらわれたもの十七パーセント。
③水泳未熟によるもの十七パーセント。
④水泳中の心臓まひ十七パーセント。
⑤シュノーケル、アクアラングの操作ミスによるもの四パーセント。

■子どもたちを水難■
■事故から守る対策■

私たちの周囲には、このような水の事故が発生する危険な条件がいっぱいあります。そこで、夏の水難事故を防止するため、次のような点に心がけましょう。

□…みんながお互いによく話し合って、子どもたちが遊ぶような川や池、海、防火用水槽などを点検しておく。危険な場所には立て札やさく、ふたなどを備えよう。

□…子どもを指定海水浴場以外で泳がせないようにする。危険なところで遊んでいる子どもには、だれでもその場で声をかけて注意する。

□…幼児や小学生は、ひとりで水泳に行かせない。必ず保護者や責任ある人が同伴するようにする

□…親子会など団体で海水浴に行ったときは、必ず責任者をつけて、子どもたちから目を離さないようにする。

□…家庭内でも泉水や風呂場などで、あるいは洗たく機による事故が起きている。幼児から、目を離さないように気を配る。とくに水の恐しさや危険な場所は、注意や指導をしておくことも大切。

□…自分の水泳能力を過信したり、水泳未熟であるのに無理をして深みに出たり、沖に出たりすることは危険なので、よく言い聞かせておく。

□…泳ぐ前に干潮や満潮、風波などもよく観察しておく。

□…危険な場所での「つり」はやめる。

□…自分の健康状態を無視して無理に泳がない。

みんなの力で青少年の明るい成長を助け見守り育てよう

青少年の非行は人ごとでない。

社会を明るくする運動月間・7／1⇐⇒7／31

夏バテを防ぐ生活の知恵

夏バテ防止法には①体力を消耗しない、体調をくずさない。という消極法と②スタミナ料理をモリモリの積極法と、ふたとおり考えられます。

まず体調をくずしやすい、いちばんの大きな原因は、暑くて寝苦しい…そこで睡眠不足になるケース。大人でも一日八時間の睡眠時間は必要なので、昼寝（三十分から一時間ぐらい。それ以上はかえって疲れる）励行をおすすめします。

しかし勤めていて昼寝がムリな人は、夜の睡眠を少しでも長くする工夫が必要。それには❶ぬるいおフロにはいること。熱い湯はからだがほてっていっそう寝つけません。ぬるいおフロは精神の鎮静もはかってくれます。

❷布とんや寝巻をサッパリしたものに。布とんの上にウスベリを敷くのも、いいアイデァ。

❸そうぞうしいテレビにはオサラバして、せめて静かなラジオ音楽ぐらいに。眠くなくても早めに床にはいって心身を休めること。

❹少量の寝酒などは効果的です

❺クーラーがあるお宅はいいけれど、ない場合は？扇風機を一晩中つけておくと危険なので、昼寝できる人がスイッチの消し役をするなら、寝入るまで使用してもいいでしょう。その扇風機も人体に直接あてないで、天井や壁にあてた間接的な風のほうが、心配ありません。

さて次は積極法としてのスタミナ食。と言えば、もちろん肉やレバー、にんにく、天ぷら、うなぎなど、蛋白質と脂肪の多い食品があげられます。朝食抜き、昼はザルソバ、なんてのは夏バテ料理の方。

食欲を増進させるのは、香辛料のはいったもの、冷したもの、酢のものなど。ことに梅干しは新陳代謝も促すので、効果があります

また、のどがかわく時、水を飲みすぎると胃液をうすめて胃の働きを鈍らせます。牛乳は栄養があるが、かわきは止まらない。そんな時、果物は効果的。とにかく栄養をつけて、ガンバラナクッチャ

戸籍手数料の改正

現行五十円から七十円に

戸籍手数料の額は、政令で定めることとされていますが、このほど戸籍手数料令の一部を改正する政令が公布され、昭和四十八年七月一日からつぎのように施行されました。なお、手数料の改正は全国いっせいに行なわれます。

①戸籍簿、除籍簿の閲覧　一戸籍について七十円

②届書類の閲覧　一件について七十円

③戸籍、除籍の謄抄本の交付　一枚について七十円

④戸籍、除籍の謄抄本の記載事項などの証明　一件について七十円

⑤届出または申請の受理や届書類に記載した事項証明　一件について七十円

⑥身分登記簿の閲覧、身分登記の謄抄本の交付手数料も現行の五十円から七十円に改められました。

夏の犯罪

ちょっとした油断　心のゆるみから

七月二十一日から八月三十一日までの間、夏の防犯運動が行なわれます。とかく夏は、家族そろって海や山へ出かけるなど、心身ともに開放的となって家を留守にする機会も多くなります。このためあき巣ドロの被害をうけたり、また暑さのため服装も軽装となり、とくに若い女性はシースルー・ルックにミニスカートの超軽装の人が多くなります。そこに目をつけておこる犯罪も例年、各地で多くなっています。

そこで、このような夏の犯罪を防止するため、みなさんひとりひとりが、とくに次のようなことに注意していただきたいものです。

あき巣・忍び込み　ドロをふせぐには

○よいカギ、丈夫なカギを取りつけ、戸じまりを励行しよう。

○主錠のほかに必ず、補助錠も取りつけておこう。

○近所の人たちと共同で見守ったり「防犯の一声運動」を励行しよう。

車の盗難や車上狙い

▽路上駐車を避けたり、監視人のいる駐車場に駐車しよう。

▽車には、必ずカギをかけておこう。

▽車内には貴重品を置かない。

▽やむを得ず、路上駐車や野外駐車するときは、めんどうでもバッテリーやイグニッションコイルのコードをはずしておこう。

車には自動車用の防犯器具をとりつけておこう。

とおりすがりの誘いにのらない

□夜、帰りがおそくなるときはあらかじめ自宅に連絡して迎えを頼むか、タクシーを利用するかなどして、女性の一人歩きは絶対に避けよう。

□車は別名〝動く密室〟ともいわれます「車で送ってあげよう」と、通りすがりの人に誘われてもきっぱりと断ろう。

□ふだんから防犯ブザー（電気店で市販されている）を携行しておこう。

今月の納税　保険税（第二期分）

話題あれこれ

カラー放送で加治木を紹介

森と文化の城下町をテーマにMBCの移動スタジオは六月二十三日に天神公園で公開録画の撮影。

くも合戦、西別府の吉左右・太鼓踊り、木田の鳥踊り、加治木まんじゅう食い競争、タッポンナンコ、婦人コーラスのほか君ケ浜親方（元鶴ケ嶺）も特別出演。待望の録画は六月三十日午後四時からテレビで放映されました。

なお、ことしの十一月末ごろにNHKの〝ふるさとの歌まつり〟を加治木でやってもらうことを、町と放送局で計画しています。

町内の危険個所を診断パトロール

梅雨期の大雨などによる災害を未然に防ぐため、町防災会議では警察、県土木、消防署などの関係委員を召集し、これまで発生した浸水、土砂くずれ、落石などの危険個所や新しく発生しそうな場所を診断パトロールしました。

用水路の取水口が川をせきとめるような形のいぜきや条件に合わないような川砂や砂利の採取現場やぶが繁って川幅がせまくなっているなど各所に見られました。

このため町や県から、業者や地区の関係者に注意や指導、協力を呼びかけ、浸水やがけくずれ地区の住民には、状況判断により早期避難をするよう文書で促すこととしました。

万一の災害に備えましょう。

西部四カ町の交通安全総ぐるみ大会

加治木、姶良、蒲生、溝辺の四町と交通安全協会では六月四日、町福祉センターで交通安全西部地区総ぐるみ大会を催しました。

参加者五百人が交通事故犠牲者に追悼の黙とう、大会々長の曽木町長のあいさつのあと、運転者の溝辺町・延時力蔵さんが「車に乗ったら深呼吸を一つ、まず心にゆとりをもつこと」加治木の東豊子さんは「購売気をそそる車のモデルチェンジや生産規制を考えてほしい」と婦人の立ち場から。蒲生中の福元弘人君は「交通ルールを守ることによって人間関係も生まれ事故防止に結びつく」と。帖佐中の交通遺児。小倉愛子さんは、父を返せと叫び、事故の絶無を強く訴えたい、と発表しました。

町精薄者育成会の会員になろう

町精神薄弱者育成会では、このほど総会を開き、新年度の事業計画や予算などを協議しました。

この会は精神薄弱者（児）の教育と福祉の向上を目的として設けているもので当日は精薄者（児）をもつ保護者や会員（各団体長）など五十人が参加しました。

加中、特殊学級担任の大脇先生は「一般に精薄者と精神病者と混同され残念だ。精薄者は統計的に二・七パーセントといわれ、町内でも五百二十人は該当者がいることになる。私たちはこのような人たちの代弁者にならなければならない」と発表しました。

最後に、この会の趣旨をもっと町内に広め、会員加入を呼びかけることとしました。

明るく正しい選挙は常時啓発が大切

町、明るく正しい選挙推進協議会（富田武雄会長）は六月十三日総会を開き、新しい推進委員八人に委嘱状を交付したあと、四十八年度の事業計画の内容や来年の参議院選挙にあたっての常時啓発運動を部落や地区、団体やグループなどの会合、寄り合いの機会に広く利用していくことなどを話し合いました。新委員は次のかたがたです。

村下久信（町自治会連絡協議会長）横山清（長寿会連合副会長）脇和夫（町PTA連合副会長）川井田ヨオ子（柁城校区婦人会長）西迫雅子（錦江同）徳永悦子（竜門同）上村シズ（永原同）南原千鶴子（中野同）

みなさまのご協力に感謝します

お礼がわりに救急車

建設会社の社長さんが消防署に寄贈

加治木、姶良、蒲生、溝辺の四町で、つくっている姶良郡西部消防組合に、このほど町内の建設業者から救急車一台（時価＝百十万円）が贈られました。

この救急車の贈り主は町内・仮屋町の大英建設（株）社長の岩沢英美さん(46)で六月十八日、西部消防本署で贈呈式が行なわれました。

贈り主の岩沢さんは、次のようにあいさつしました。

「さる二月に不幸にして当社の車によって、竜門中の女子中学生三人が大変な被害をうけられ、ご本人たちはもちろん、ご家族のかたには何とも申し上げようもない気持ちでいっぱいです。おふたりは早くよくなられましたが　ひとりは重態で再起不能とさえ見られていたわけですが、尊い輸血も百人以上のかたにご協力をいただき全快に近い状態となり、退院の声も聞くほどになりました。みなさまがたのご協力にむくいるため、今後の事故の絶無を願い、少しでもお役に立てばと、救急車を一台お贈りすることにしました」

車の鍵を手にした同組合の管理者・曽木町長は、

「住民の生命を守るため、一つの大きな事業である救急業務の遂行のため、りっぱな救急車を一台寄贈され感謝にたえない。関係署員一同、使命に向かって邁進し、ご好意にむくいたい。岩沢さんもこんごの事業に精進され、六カ月の損失をおぎなってほしい―」とお礼のことばをおくりました。

岩沢さんは、事業もかえりみず社長みずから、夜・昼つきっきりの状態で看病にあたり、また輸血の手配などにたえず走り回り、血液の提供者を何人も自宅に泊まらせて、女子中学生の輸血にあてるなど、できるかぎりの誠意をつくされています。

救急業務に役立ててください＝贈られた救急車と岩沢さん

田中と塩入に水銀燈

ロータリークラブが贈る

加治木ロータリークラブは、毎年いろいろな社会福祉事業に応援をして、社会を明るくする運動に貢献していますが、このたび水銀燈二基を田中部落と塩入公民館に寄贈することになり、さる六月十二日、例会の席上、両部落代表に林敏克会長から贈呈されました。

郵便番号制／五周年　郵便切手などを発売

加治木郵便局では、郵便番号制五週年を迎え、次の行事を予定して皆さんの協力を呼びかけています。

○郵便局の見学をあっせん

郵便番号による区分作業の実際を見ていただくため、鹿児島中央郵便局の見学をあっせんします。

○郵便切手の発行

郵便番号制・周知用の郵便切手（十円と二十円の二種）を七月一日から発売しています。

○小包にも郵便番号を

小包郵便物も全部、郵便番号で区分するので郵便番号を忘れずに

三行メモ

塩水の中にタマゴを入れてみると、新しいタマゴは沈み古いタマゴは浮き上がる。

会場わかす好取り組み

出場ぐも二百五十八匹

ますます好評の〝くも合戦〟

くもの動きを見つめる審判と出場者、観客

うんにゃコラおもしてがー。よか勝負じゃっどな

全国でも珍しい恒例の加治木名物〝くも合戦〟は六月十日（日）午前九時から、町福祉センター大ホールで、町観光協会の主催で行なわれ、くもの出場者や町内外からの観客など五百人の人でにぎわいました。

ことしは寒期がおそくまで続いたので全般的に、くもの成育状態が悪いということでしたが、くもきっげ（愛好者）たちが志布志や大隅、指宿などの山野で捕獲、十日あまり自宅の内外で秘伝秘術の調教を行ない、最高のコンディションで当日の大会に出場した、くもの匹数二百五十八匹。

試合に先だって優良ぐも（ミスヤマコッ）の審査があり、十五匹が出場しました。風姿、容ぼうなどミス・ヤマコッ審査規定によって厳正審査の結果、ミス・準ミスの二匹を選びました。

いっぽうヒモシなど、合戦場の準備も整い、対戦者同士を呼ぶハンドマイクのボリュームもひときわ高く、待望のくも合戦の始まり。

昔ながらのカミシモ・袴すがたに衣しょうを正した竹内親男審判長ら三人によって三カ所で次々に好取組が展開されました。

ヒモシの棒上で対戦する自分のくもに、ふとか（大きな）声で盛んにけしかける威勢のよい人。腕を組んだままきつい顔でジーッとなりゆきを見守るお父さん。おもわず「よかった、勝ったわ」と手をたたくご婦人。順調に勝ち進み次の出場ぐもに全てを託しホールのわきでゆうゆうと、たばこをふかす老人など、広い会場では一年に一回、たった一日のくも合戦にかける〝くもきっげ〟たちの人間模様が数多く見られます。

例年このくも合戦には、県内外からのお客さんやアマ・プロのカメラマンなどが取材や観戦に来ますが、ことしはアメリカのエール大学教授ブルース・B・ストーさん夫妻ら一家四人も会場に見えてこの珍しいくも合戦を、さかんにカメラに納めていました。同教授は生物学を教えており、くも学会の一員ということです。

「アンパイヤーのマナーはりっぱだ。くもの生態をよく心得た扱いに感心した」と話していました

熱心に観戦していた田中の高畠吉蔵さん(72)は「くも合戦が好きで優勝は一回もできなかったが、昨年まで出場した。ことしは足を痛めて観客だ。戦前は二円もって竹の皮でつつんだニギリメシを腰に竹ん皮のぞうりで桜島や指宿などへ取りに行ったものだ。太かくもを見つけるとドカッとそこに座り込み、くもをながめながら一服するときの気分は、くもきっげたちの一番楽しいときごわんそ。いまずいのダレもやんもさ」と話してくれました。

古い伝統をもつ加治木のくも合戦だけは、後継者不在の心配もなく、おせ（大人）も子どももいっしょになって、ますます大好評のようです。

当日の成績は次のとおりです。

■優良ぐも／二位まで
①入部　貢　②立山経弘

■くも合戦／少年の部
①松田洋人　②柳川文人
③南　行男　④松田ゆき
⑤田中　進　⑥大石三郎
⑦江口正市　⑧山並徳高
⑨浅井みき　⑩大吉ゆみ子

■くも合戦／おとなの部
①立山経弘　②入部　力
③長谷幸男　④徳田幸男
⑤有馬明臣　⑥上小牧重則
⑦諏訪国義　⑧岩元久明
⑨入部　貢　⑩坂口秀和

竜門句会

梅落とす竿につぎして又叩く　林　玄洋

逢う人のみな美しき薄暑来ぬ　横山江南

鶏合せ見し夜の夢の切れ切れに　鶴田　耕

つばくらや別離の船の巨きさに　蓑毛夏江

再会を約して握手花あざみ　中山待香

たどり読む塚に張る苔たくましく　恒吉斗南

道説かぬみ仏なれど古都の春　伊丹　司

婦人会だより

五月三十日　郡婦連・西部ブロック研修会（溝辺町公民館）

▼新生活運動の一つ、簡素化運動を各町独自の方法で展開。

▼公害問題の原因の一つ、生活汚水（家庭で使用する中性洗剤の汚水）を各町で研究し、会員にその実態を知らせる。

▼太陽国体を期にして行なわれている〝花いっぱい運動〟を継続するには財源のうらづけが必要。各町とも行政に働きかけて財源の確保に力を入れる。

六月六・七日　吉田町の県青少年研修センターで町内部落幹部研修会（山路澄子先生の話から）

『消費ブームの世の中で、物を大切にすることを再認識する婦人になること。マスコミにあおられ、読書することを忘れている婦人が大半だが、読書をすること。読書することから精神面の糧を求めることが真の現代婦人である』

私たちの進めている㋮㋕㋖運動の展開の大事さを再認識した。この運動の推進に皆さまのご協力を

六月十一日　生活学校の開校式町内の商店から買い求めた商品の量目調査をした結果、姿買い（個数とかひと山）の場合が、目方買い（グラム単位）の方より量目不足が目立った。毎日の消費生活の中でつとめて、目方買いをしよう

六月十六日　地区公民館長と婦人会長の合同研修会。最近派手になっている簡素化運動を新生活運動の一環として合同で推し進めることを話し合った。

香典返しを寄付

町社会福祉協議会へ

香典お返しのかわりに、ご寄付をいただきました。厚くお礼申しあげます。

金額　ご遺族　故人

五千円　長　谷　屋所ミツ（夫新助）

一万円　長　谷　富永光志（父恵一）

一万五千円　朝日町　平原ミツエ（夫安夫）

五千円　茶碗屋　猪俣アイ（妹花堂シズエ）

一万円　里　上　山元真子（夫光嘉）

五千円　東汐入　田中治休（妻キヨ子）

一万円　田　中　藤崎幸子（父末次）

一万円　岩原西　橋口　嵩（父秀義）

一万円　徳　永　徳部とみ子（夫良哉）

五千円　丸　岡　中森重春（父浅太郎）

一万円　弥　勒　岩元ひで（夫登）

育英奨学資金へ

一万円　田　中　藤崎幸子（父末次）

一万円　徳　永　徳部とみ子（夫良哉）

※六月二十日までのご寄付を掲載しました。

七月と八月の当番医

1日	池田医院	②二二一〇
8日	岩崎医院	②二三一五
15日	大川医院	②二〇三二
22日	平山医院	②二四六八
29日	神田橋医院	②二〇二四

5日	玉利病院	②二三二八
12日	壱岐医院	②二二二二
19日	池田医院	②二二一〇
26日	岩崎医院	②二三一五

町医師会のご協力によって、来月の当番医も掲載することになりました。暦の余白にでもメモしておくと便利かと思います。

随想 44

みどりを求めて

曽木隆輝

私は、庭に雑木一本でも多く植えて、みどりをふやす。梅雨に枝がのびて、ひさしを覆う。雑草も生い繁り足のふみ所もない。妻は花でも植えればよいのに庭中ヤブになるとブーブーいいながら木の枝を落とす。夕方になると蚊がでる。薬をまく。みどりが深いといえば聞こえはいいのだが、繁り過ぎても大へん

町内清掃の日、近所の人たちが見かねて、周囲の草をとってくださった。すまないことだ。みどりもほどほどがいいのかなと思う。

先日、東京である会合があったそれは以前、各都道府県の町村会長をつとめたことのある現職の町村長の会議で、本県から坊ノ津町長の長井氏と私が参加した。出席者は三十人あまりで、最年長者は埼玉県幸手町長の三ツ枝氏八十歳。若いところでも六十歳以上で、よくいえば町村長の長老組。

悪くいえば骨とう品かガラクタしかし議題は地方自治の発展策といったもので、議論は真剣だ。息子が代議士だという人が二人もいて、大臣だろうが次官だろうが子ども扱いの形。住民の声をわれわれほど知っている者はいない。われわれの声を聞かぬ大臣なんて、やめてもらいたいーと、意気は壮年顔まけだ。

皇居のまわりの木々もやっと雨に洗われて美しい。しかし都心はビルが天にそびえ、みどりなんて見あたらない。スモッグに覆われた天は低い。

会議のあと、全国町村会長に案内されて、上野で開催中の中国出土品美術展を見にいった。二千年三千年もむかしの偉大な中国の文化芸術を目のあたりにして、中国の歴史の貫録に圧倒された。

上野の山一帯だけは樹木が多い私は陽のおちかけた空をながめながら、そして遠近から迫る騒音をききながら、都会におれば、こんな美術や芸術にふれる機会に恵まれることをうらやんだ。が同時にこんなうるさい、汚れた町に一刻もいたくない。早く空のきれいな緑の多いふるさとへ逃げだしたいと思った。たとえヤブ蚊はいても。

私は一日だけいて、翌日早く羽田空港にいって、二時間後には加治木の役場にいた。お隣りの端山神社の大榎木には、小鳥が群れていた。